

第2回 みどり技術 ネットワーク 全国会議

みどりの食料システム戦略の実現に向けて、現場への普及が期待される技術について、「みどりの食料システム戦略技術カタログ」として取りまとめています。これらの技術の更なる普及、改良を目指し、カタログ掲載技術の紹介や、技術開発者や技術を実際に使っている農業者等とのパネルディスカッションを実施いたします。

※本全国会議は、「みどり技術ネットワーク地域会議（全国9ブロック）」を受けて実施するものです。

👉申し込みはこちら



申込期限:3月4日17時
会場参加は先着100名

○日時：令和7年3月6日(木) 13:00~16:10

(会議は13:30~15:40、ポスター展示は13:00~16:10)

○場所：農林水産省 6階共用第2会議室(ドアNo.本667)

○所在地：東京都千代田区霞が関1-2-1

○形式：会場及びオンライン併用(Microsoft Teams)

-----プログラム-----

【開会挨拶】大臣官房 技術総括審議官 兼 農林水産技術会議事務局長 堺田 輝也

【パネルディスカッション（みどりカタログ掲載技術）】

- ・化学肥料減が期待される衛星データと**可変施肥田植機**の利活用(ヤンマーアグリ、千葉県)
- ・土づくりと減肥のための**緑肥**利用(農研機構、伊豆陽なたビオファーム)
- ・輸入花粉に依存しない**国産花粉**の安定供給システム(鳥取大学、埼玉県)
- ・混合有機質肥料を用いた**土壌還元消毒**(片倉コープアグリ、福岡八女農業協同組合)

【ポスターセッション（地域会議における発表技術）】

北海道：国産濃厚飼料の生産利用技術「イアコーンサイレージ」（農研機構）

東北：作業の省力化とGHG削減効果「自動水管理システム」（岩手県）

関東：緩効性肥料や有機質資材の肥効見える化「土壌環境API」（農研機構）

北陸：減化学肥料栽培と指導農業士会を起点とした技術普及「高窒素鶏糞」（新潟県）

東海：データ利活用による環境負荷低減栽培と生産性向上「自動運転田植機、乾燥調製システム等」（みなみ農園）

近畿：露地ナスの減農薬栽培「土着天敵、天敵温存植物」（奈良県）

中国四国：収穫作業の軽労化「高能率キャベツ収穫機」（農研機構）

九州：化学農薬を使用しない除草体系「水田用除草機、除草技術」（オーレックR&D）

沖縄：土壌改良資材を用いた化学肥料の低減「保水保肥有機ポリマー」（EF Polymer）

【閉会挨拶】大臣官房政策課 技術政策室長 齊賀 大昌

【お問合せ先】農林水産省大臣官房政策課技術政策室

電話：03-3502-3162（小花和・平野・三枝）

農林水産省